

新しく住む人も古くから住む人もともにふるさとと呼べる「越谷」を目指して!

越谷市議会議員

# 大野やすし 市政報告

# No.21



〒343-0806 越谷市宮本町1-94-3 電話/FAX:048-940-0155  
携帯:080-3300-8100 メールアドレス:y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp

HPあります、  
検索エンジンでy-ohno.jpと入力してください。  
FB、Twitterもよろしくお願いします▶



y-ohno.jp 検索

## 副議長を1年間務め、 6月定例会に無事退任しました



委員会でしがやプレミアム付商品券を持って質疑

令和4年(2022年)もあと2ヶ月となりました。コロナ対応が少しずつ緩和されていく中、ロシアのウクライナ侵攻などの影響により、国際的な資源価格は上昇し、急速な円安と物価高が実感されるようになっていきます。

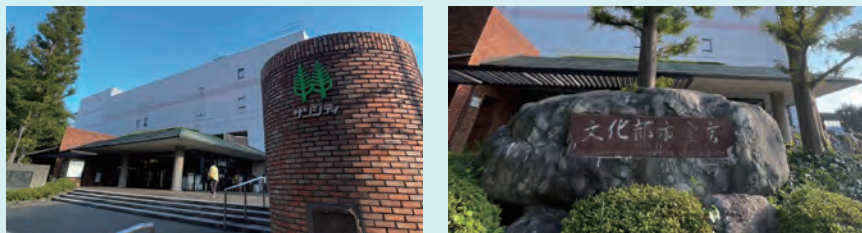
私は、昨年6月に副議長に選任され、3月定例会では、越谷市議会に初めて設置された予算決算常任委員会の委員長として今年度の予算審議を取りまとめました。本年、6月定例会には慣例の1年を無事

務め退任しました。副議長在任中、お世話になった皆さん、誠にありがとうございました。

9月定例会では、久しぶりに、一議員として、一般質問し、環境経済建設委員会でも議案質疑をさせていただきます。

以下に9月定例会の取り組みを中心に本年の取組をご報告します。市民のみなさんが感じる、市政についてのご意見・ご要望、遠慮なく私にお聞かせください。引き続き、よろしくお願いいたします。

## 1. 未来に向けた南越谷地域の にぎわい創出及び越谷サンシティの整備



◇越谷サンシティ再整備については、本年度実施予定の事業者公募が1年繰延べされたところから、改めて、南越谷駅・新越谷駅周辺地域のにぎわい創出と越谷サンシティの整備について、市長に問いました。

◇南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい構想(令和2年3月)では、越谷サンシティに至る歩道等の整備、バスターミナル等、新越谷駅西口ロータリーの機能改善などがとりあげられていますが、南越谷を県東南部の拠点、越谷の顔として整備していくため、私が特に注目するのは、長距離路線バスやツアーバスの発着場、バスターミナルの整備です。しっかり検討してほしい旨、要望しました。

◇越谷サンシティの整備については、事業者から現在の越谷市では開催困難な中核市市長会が今後開催できるようなマーケットサウンディングが得られたのか、については、ホールの併用で対応可能か検討したいとのことでした。また、市民要望の強いアリーナについては、実施方針、要求水準を含め、事業者公募にあたって納得性の高い決め方をすることが重要である旨、訴えました。

◇市長からは、いろいろな意見があることを肌身をもって感じており、選択した結果については市民にわかりやすく説明したいとのことでした。

◇越谷市の未来を担う事業として、今後も引き続き注目していきます。

## 2. レイクタウン大相模調節池の 水辺活用について

◇越谷市は平成20年のまちびらき以来、레이크タウンの年間約5,000万人の来訪者を市内に回遊させることを目指すとしてきましたが成功していません。市が今年8月に「(仮称)大相模調整池河畔水辺活用に関する基本協定」をイオンモール株式会社と締結したことを機に레이크タウンで市内事業者が恩恵を受ける取組をすべきとの考え方で質問をしました。

◇まず基本協定締結に伴う民間事業者と連携した取組については、①遊歩道から水上に張り出す棧橋の整備②カヌーやサップなどの水上アクティビティの充実③芝生の斜面に創業や地域コミュニティの形成に資する地域交流拠点の整備が提案されたとのことでした。私からは、地域交流拠点について、日本橋にある三重テラスを参考に、越谷のアンテナショップ、(仮称)越谷テラスかガーヤちゃんの蔵屋敷2号店のような施設を整備すべきと市に提案しました。

◇また、水辺のまちづくり館を含む約1ヘクタールの市有地の活用については、駅からのアクセスなどの立地特性に適した活用について戦略的かつ効率的に総合的に検討していきたいとのことでした。私からは越谷全体の発展のため寄与するよう慎重に検討してほしい旨要望しました。



## 人口減少に打ち勝つ 令和時代の越谷を築く3つの方向

- ① 共働き子育て家庭が子どもを安心して生み育てられる環境づくり
- ② ダブルケア、老々介護を支える高齢者も安心な医療介護福祉のしくみづくり
- ③ 埼玉県東南部100万人を見据えた未来への投資と基盤整備

## 3つの主張

- 誇りを持てるまち越谷を築く
- しぶとい日本人の再生を目指す
- 簡素で効率的な行政体制づくり

## 8人家族



## 経験から取り組む5施策

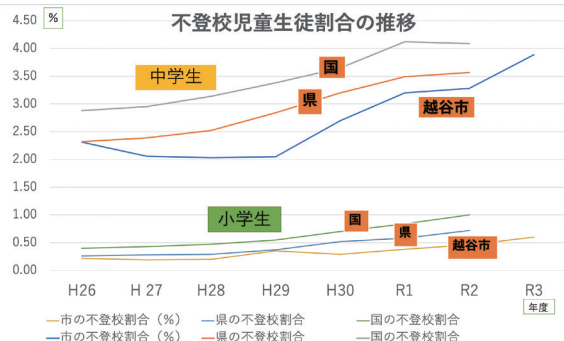
- ① 子ども・教育施策の推進
- ② まちづくり・経済産業施策の展開
- ③ 高齢者・危機管理施策の強化
- ④ 観光を通じた伝統・文化の活性化
- ⑤ 行財政改革の徹底

## 経歴

- S38 宮本町生まれ、越谷くみ幼幼稚園、越ヶ谷小、中央中、越ヶ谷高、明治大学政経学部卒業
- S62~H23 東京都職員(建設、行革、防災等)、元越ヶ谷高校同窓会副会長
- H23.H27.H31 越谷市議当選3回
- H30.6~R1.5 越谷市監査委員
- R1.6~ 民生常任委員会委員長
- R2.9 決算特別委員会委員長
- R3.6~R4.6 副議長

裏面へ  
続く! ▶

### 3. 不登校対策と教育相談体制の充実



◇コロナ禍で、不登校が増えているという事実を背景に、この質問をしました。

◇越谷市では、令和元年度から不登校を、毎年0.05%を減らしていくことを目標にしているところですが、小学校は、令和2年度0.46%、82人、令和3年度0.6%、107人。中学校は、令和2年度3.28%、281人、令和3年度3.89%、339人となり、増加傾向にあります。越谷市の数値は、国・県よりも低い数値となっており、越谷市の小中一貫教育の成果が出ていますが、当事者の児童生徒、保護者にとっては目の前の課題であり、一件一件が解決すべき重要な課題です。

◇ポイントとなる越谷市の相談体制は、小中学校への学校相談員、スクールカウンセラーと教育相談センターの相談機能の効果的な連携と支援を目指して対応しているということでした。さらに、電話で相談できるハートコールや今年度から児童生徒の1人1台のタブレットか

ら相談できるトラブル相談ホットラインを開設し、早期対応できるようにしているとのことでした。

◇私からは、年間30日以上休校する不登校だけでなく、それ以前の登校しぶりの段階での早期対応を求めるとともに、沢山ある相談窓口を一覧性のあるリーフレットにわかりやすく示し、イザという時の相談しやすい体制づくりに努めてほしい旨訴えました。

◇教育長からは、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにいきなり相談に行くのではなく、まずは担任や学年主任など、学校に相談してほしい旨の話がありました。

◇コロナ禍で上がった学校と保護者のコミュニケーションギャップの垣根を下げるよう努力するとともに、特に不登校対策のポイントとなる小学校高学年への対策の強化を、再度お願いしました。

### 4. 予算決算常任委員会 環境経済・建設分科会

#### ① 稲作農業経営者支援金

Q 本件支援金は、実績倍以上の2,778万円不用額が出ている。事業者の事情をどのように把握しているか。

A 令和3年度、コロナ禍で米あまりで米価が下落する中、耕作面積当たり、1,000平方メートルあたり1万円の補助金を給付。農地台帳水田5,000平方メートル以上が対象。584人対象者がいたため8割の申請を想定し4,700万円用を予算化。ところが138人の申請1,977万円の給付に留まり、42%が不用額となった。その理由は農地の貸借について、本来、農業委員会の許可が必要だが、農家は昔ながらの相対取引で書類がないため、交付の対

象とならなかったとのこと。

Q 適正化を進めるとともに、簡略化を進める方法は？

A 支援金がきっかけとなって申請が増えた手続きについては、今後申請した時に、サポートできるようにしていく。

▶『諸物価高騰で、小麦も高騰する中、米あまりだが、越谷を売り込むチャンスでもあり、越谷米販売応援キャンペーンの実施を要望する。』

#### ② 農業従事者後継者育成事業

Q 越谷の農業には未来があることを伝えて新規の後継者を募るべきと考えるが実績は？

A 平成22～26年、いちご、27年、ねぎ、30年からクワイ、これまで11名の後継者を育成。令和2年から水稻、まずは間口を広げていきたい。

#### ③ プレミアム地域振興券事業について

Q 昨日、私のところにも届けられたが、昨年度との実績の違いなどは？

A 1冊1万円で購入できるプレミアムがついている。12万冊相当分15億6千万円分の予定。令和4年度から一旦、電子券をやめた6.5億円が小型店で使われた。一定割合以上の小型店で利用があったと考えている。

#### ④ ガーヤちゃんの蔵屋敷について

Q 観光物産拠点のガーヤちゃんの蔵屋敷、黒字化と今後の事業展開は？また、越谷の駅前だけでなく、レイクタウンにも2号店を作り、市内事業者を支援すべきと考えるか？

A 2017年5月にオープン。令和2年度のコロナ禍では市内事業者の作ったマスクが1,000万円超の売り上げ貢献。すぐもり消費などにより初の黒字化。新しい商品にこだわり陳列に配慮。新商品の取り込み。パンフレットや大口顧客の獲得、東北地方の物産の継続的取扱などを行ってきました。

今後の展開については、愛されグルメ、伝統的手工芸品などを活用し、来店者数の増加、商品の充実を図り、客単価の増加、来店者数の増加、購買数の増加手に取り組む。

2号店は水辺の事業計画の中で「にぎわいの創出」「くらしの貢献」「市内事業者の支援」などの視点で検討していきたい。

#### ⑤ 都市整備・建設事業の進捗について

◇浦和野田線の事業の進捗状況

元荒川工区の実設計が進んでいる。8月に計画変更認可の告示、事業認可に向け、県が調整中。住民説明には引き続き対応していく。

◇元荒川緑道の遊歩道整備、令和3年度は荻島地区に階段の整備、大砂橋付近にスポット広場。トイレは概ね2kmに1ヶ所の気順で検討する。



▲こしがや田んぼアート2022 福刈

### 地域活動いろいろ



▲越谷技博「初めての麦味噌仕込みワークショップ2022」 ▲中核市サミット2022in豊田



▲宮本町神明町グラウンドゴルフ大会 ▲第7回赤山寄席



▲越谷プロデュース研究会 ▲越谷秋まつり等調査報告 ▲越谷技博2022の準備のためだるま組合の皆さんと